



平成24年度 医動物・種類同定検査のまとめ(10～3月)

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。平成24年10月から平成25年3月の種類同定検査件数は、88件でした。内訳は昆虫類3件(ゴキブリ目1件、チョウ目1件、ハチ目1件)、その他の節足動物85件(クモ類38件及びその卵囊46件、多足類1件)でした。神奈川県内においてセアカゴケグモが発見されたことに伴い、市内におけるクモ類の生息調査を行った結果、以前より生息しているハイロゴケグモは確認されましたが、セアカゴケグモの生息は確認されませんでした。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
洗面台付近に虫がみられる	 成虫、淡褐色、約12mm	チャオビゴキブリ (ゴキブリ目)	体色は淡い褐色。国内では小笠原父島に分布しているが、それ以外の地域においてもまれに確認されている。
部屋の中にガがみられる	 成虫、茶褐色、約10mm	ハシメダラメイガ (チョウ目)	幼虫は米などの穀物、ナッツ、チョコレート、香辛料など多くの貯蔵食品、乾燥食品を食害する。 世界共通種で、広く日本に分布する。
屋内に多数の羽アリがみられる	 有翅虫(雄)、黒褐色、約2mm	フタフシアリ亜科 (ハチ目)	結婚飛行に飛び立った有翅虫(雌、雄)の中で飛行を終えた多くの雄が灯火に飛来したものの。
市内におけるクモ類の生息調査	 成体、灰褐色、約12mm(雌)	ハイロゴケグモ (クモ目)	腹部にゴケグモ類特有の赤い斑紋(砂時計型)がみられた。
	 卵囊、黄白色、約10mm	ハイロゴケグモの卵囊 (クモ目)	卵囊はハイロゴケグモ特有の金平糖型であった。

相談内容・ 発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
市内におけるクモ類の生息調査	 <p data-bbox="438 461 699 495">成体、黒褐色、約4mm</p>	その他のクモ類 (クモ目)	ゴケクモ類特有の赤い斑紋(砂時計型)が腹部にみられなかった。
敷物に虫の体の一部がみられた	 <p data-bbox="528 732 612 766">茶褐色</p>	多足類の一種 (倍脚綱)	落ち葉層や土壌、朽木、石の下などに生息する。徘徊性の動物で、主として夜間活動性である。腐食質、菌類などを食べる。

【 検査研究課 医動物担当 】